

## 1. 動作環境

本ソフトウェアは以下の動作環境を想定して設計されております。

- 1) OS : Windows 2000(R) Professional (SP2以上)、WindowsXP(R) Professional Edition
  - 2) CPU : 1GHz 以上
  - 3) メインメモリ : 256MBytes 以上
  - 4) 画面解像度 : 1024 X 768 画素以上
  - 5) 色分解能 : 65536色 以上
  - 6) その他 : DirectX8.1ランタイムライブラリがインストールされていること
- 上記の数値は、実用上支障なく動作することを想定した値になっております。

Windows 2000(R) Professional、WindowsXP(R) Professional Editionは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ご注意:

1. 本ソフトウェアは上記パーソナルコンピュータ上で本ソフトウェアを単独で動作させて確認を行いました。従いまして、動作環境を満足するその他のパーソナルコンピュータ上で動作させた場合や他のアプリケーションソフト・ユーティリティソフトが動作している場合には、一部の機能・性能に不具合が生じる可能性がありますので御了承願います。

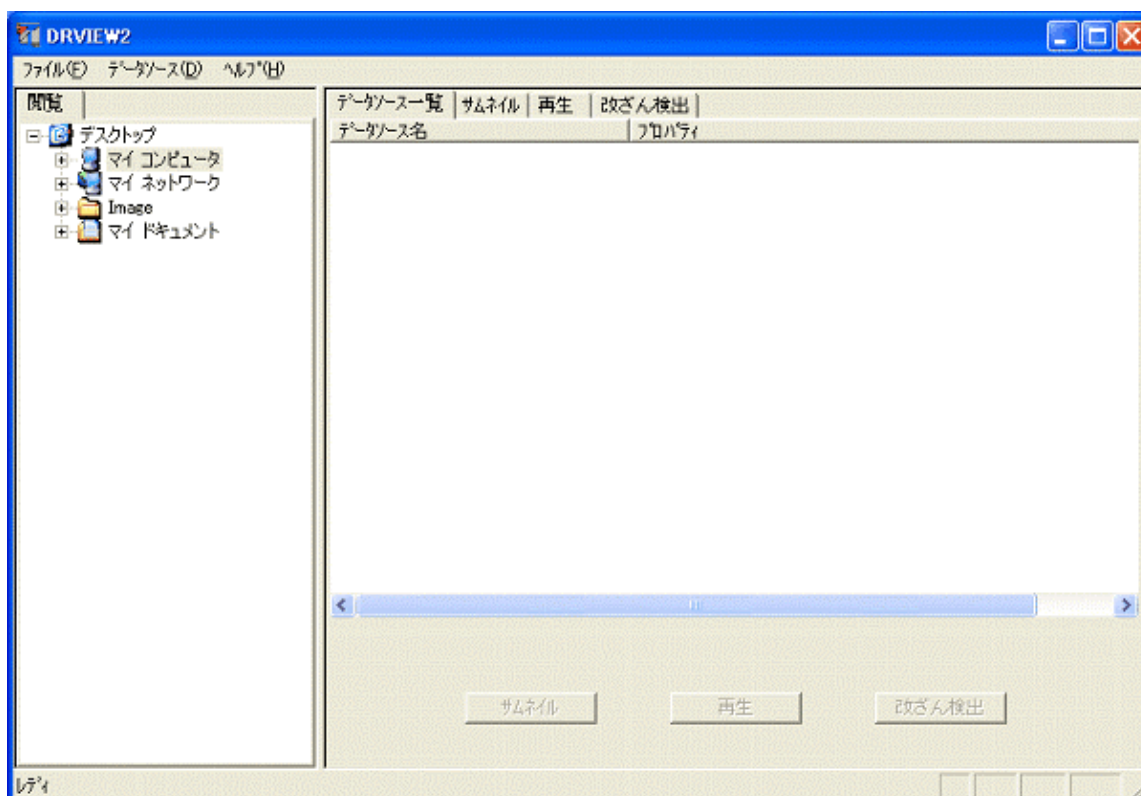
2. 本ソフトウェアは、Windowsシステムフォントとして「小さなフォント(96dpi)」を用いることを標準に設計されています。「大きなフォント(120dpi)」を用いた場合、特に800\*600の画面解像度では、表示ウィンドウの一部が画面から飛び出して、操作しづらくなる場合があります。

Windowsシステムフォントは、Windows「画面のプロパティ」で確認してください。

## 4. 使い方

### 1) 起動

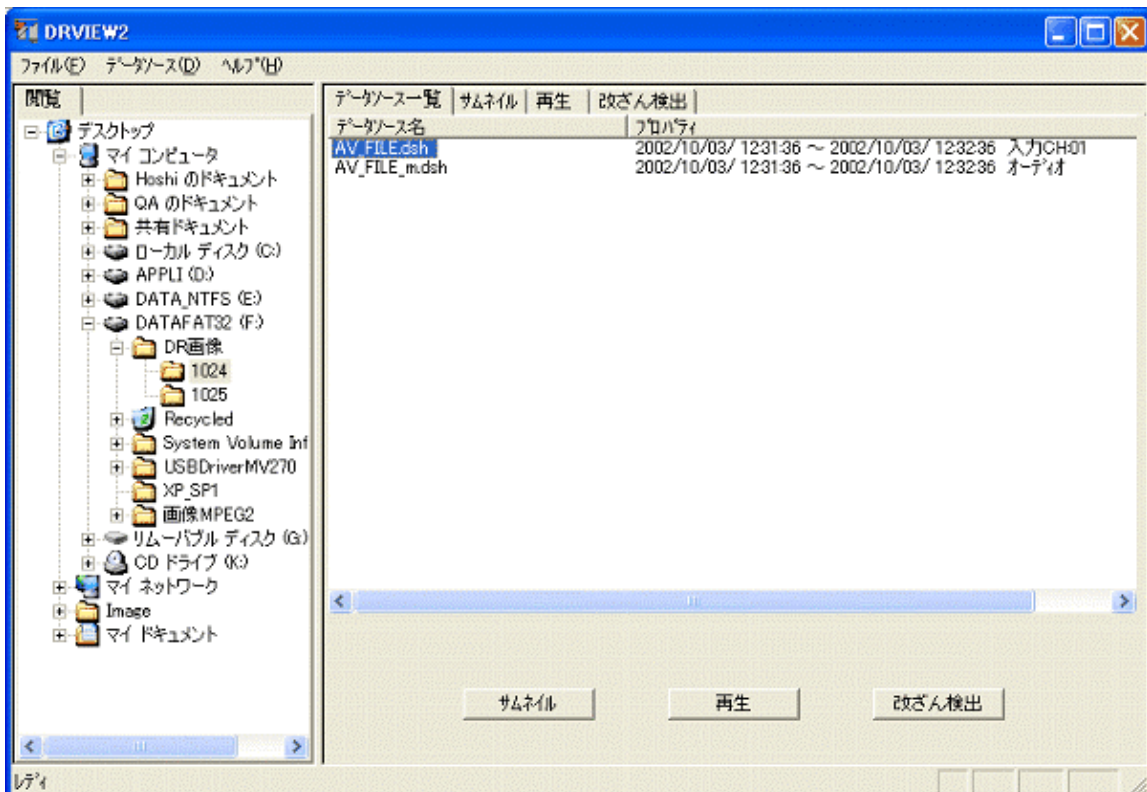
本プログラムを起動させますと、下記のような初期画面が表示されます。  
エクスプロ - ラ同様、ウィンドウ左側にフォルダーツリーが表示され、右側にはフォルダーツリーで選択されたフォルダー内のファイル名(またはフォルダー名)が表示されます。



## 2) データソースを選択する

本ソフトでは、サムネイル表示や再生等の対象となる画像データファイルの所在を、データソースという概念で扱います。

下図はデータソースとして、ドライブFのフォルダ[DR画像]-[1024]内にあるファイルAV\_FILE.dshの画像が選択されていることを意味します。



本ソフトで取り扱うことのできる画像はデジタルレコーダーで生成したファイルのみです。ファイルの拡張子は、

C - DR1600、C - DR0900の場合: dsh

C - DR0800 - 8の場合: jpg

です。

データソースを取り扱う際、処理に要する時間はフォルダ内の画像数・サイズの他に、お使いのPCの演算・表示およびドライブからの読み込み速度によって大きく異なります。

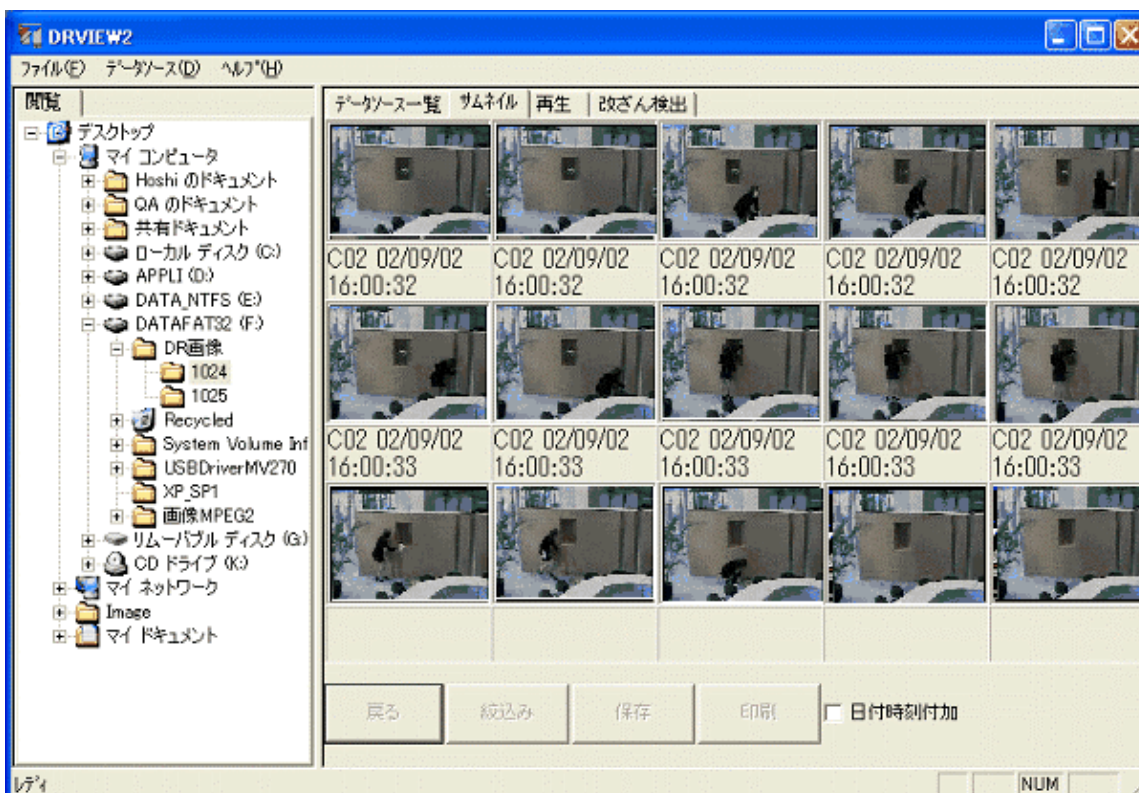
フロッピーディスクやメモリーカード等はハードディスクに比較して低速であるため、サムネイル表示等の操作は、いったんハードディスクにコピーしてから行うことをお勧めします。

### 3) サムネイル画面を表示する

データソースを選択した後、「サムネイル」鈕をクリックすると選択されたファイルの画像がサムネイルで一覧表示されます。

「サムネイル」鈕をクリックしてからサムネイル一覧が表示されるまでの時間はお使いのPCの性能に依存します。また、フロッピーディスクやメモリーカードは一般に読み込み速度が遅いためハードディスクからの読み込みに比べ長い時間を要します。

サムネイル画面では、選択されたデータソースの先頭から末尾までを、ほぼ15等分した間隔で15画面表示します。下図はサムネイル表示画面の例です。各々のサムネイル画の下には、それが記録された日時が表示されます。



サムネイル画面からは更に以下の操作を行なうことができます。

1) 範囲を指定して絞込

- 1 - 1) 閲覧表示画像のいずれかをクリックし、絞り込みの開始時刻を決定します。  
(クリックされたサムネイル画がネガ表示になります)
- 1 - 2) 再度同様に閲覧表示画像のいずれかをクリックし、絞り込みの終了時刻を決定します。  
(クリックされたサムネイル画がネガ表示になります)
- 1 - 3) 「絞込み」ボタンをクリックします。

この手順で絞込みを行うと、開始点が閲覧表示画像の左上に移動し、終了点が閲覧表示画像の右下に移動して、その間が、より高い時間分解能で表示されます。さらに細かい時間分解能が必要な場合には、再度同じ手順を繰り返してください。

2) 範囲を指定して保存 (拡張子がdshの画像ファイルに対してのみ有効です)

- 2 - 1) 前項の手順で保存開始 / 終了点を指定します。
- 2 - 2) 「保存」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」ウィンドウが現れます。
- 2 - 3) アップロード先のフォルダーを決定します。デフォルトのファイル名(AV\_FILE.dsh)を変更する場合はファイル名を入力してください。
- 2 - 4) 「保存」をクリックします。

3) 1枚の画像を指定してJPEGで保存 (拡張子がdshの画像ファイルに対してのみ有効です)

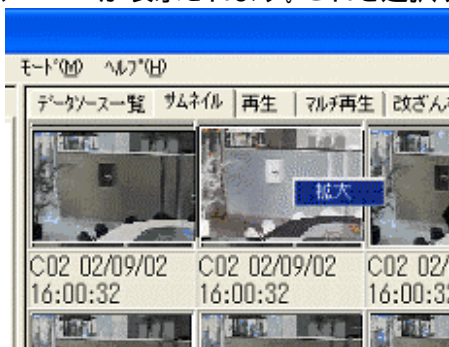
- 3 - 1) 閲覧表示画像のいずれかをクリックすることにより、保存する画像を指定します。
- 3 - 2) 「保存」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」ウィンドウが現れます。
- 3 - 3) アップロード先のフォルダーを決定します。デフォルトのファイル名(AV\_FILE.jpg)を変更する場合はファイル名を入力してください。
- 3 - 4) 「保存」をクリックします。

4) 1枚の画像を指定して印刷

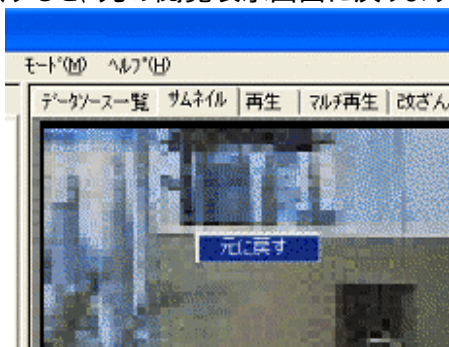
- 4 - 1) 閲覧表示画像のいずれかをクリックすることにより、印刷する画像を指定します。日付と時刻を画像に重ねて印刷する場合は「日付時刻付加」にチェックを入れます。
- 4 - 2) 「印刷」ボタンをクリックします。

5) 1枚の画像を指定して拡大表示

- 5 - 1) 閲覧表示画像のいずれかを左クリックして選択後、右クリックすると「拡大」のプルダウンメニューが表示されます。これを選択すると、拡大画像が表示されます。



- 5 - 2) 拡大画像表示画面で右クリックすると「元に戻す」メニューが表示されるので、これを選択すると、元の閲覧表示画面に戻ります。

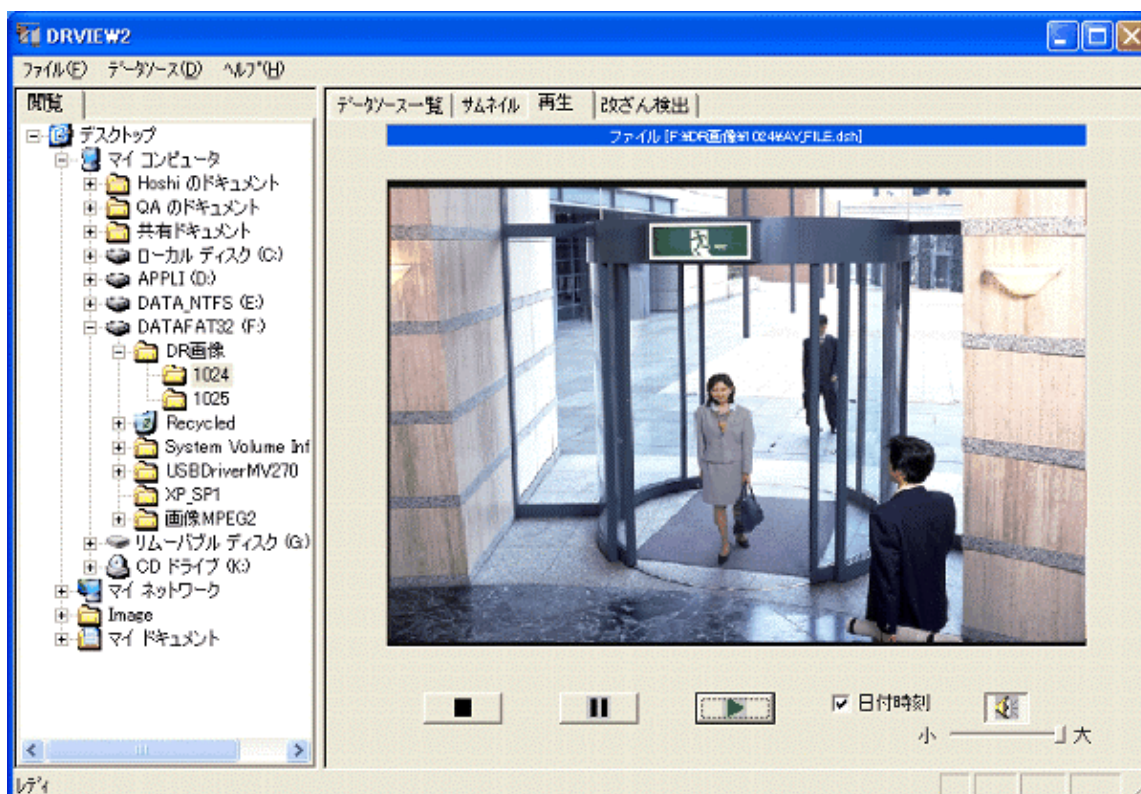




#### 4)再生画面

データソースを選択した後、「再生」鈕をクリックすると選択されたファイルの連続再生を行います。

下図はドライブFのフォルダ[DR画像]-[1024]内にあるファイルAV\_FILE.dsh の再生画面例です。



日付時刻にチェックを入れると画面右下に記録時の日付と時刻が表示されます。

音声データがある場合は音声も再生できます。音声出力のオン/オフと音量調節は画面右下のスピーカアイコンと音量スライダーで行います。



音声出力オン状態です。クリックすると消音状態になります。



消音状態です。クリックすると音声出力有りの状態になります。



スライダーのつまみを左右に移動することにより音量調節ができます。